

無料

予防  
教育

令和5年度文部科学省委託事業  
依存症予防教育推進事業  
<https://isonyobou.jimdofree.com/>

新しい依存症予防教育

依存の問題は、薬物・アルコールだけでなくインターネットやゲーム等幅広い分野に広がっています。この教室は薬物・アルコールとネット・ゲーム依存をテーマに、私たちのとても身近にある依存症について、一緒に考える教室です。長く続いたコロナ禍の影響も見逃せません。依存症問題にも新たな問題が出始めています。ハマってしまう背景に何があるのか、予防には何が必要なのか。みなさんと一緒に考える予防教室です。地域で予防や支援にかかわっている方はもちろん、依存症当事者や家族、そして依存症って何？と思っている方に参加を呼びかけます。

## 奈良教室

あなたの身近にある依存症  
令和5年12月3日(日)

会場

奈良春日野国際フォーラム  
別館・会議室5



### プログラム

- 13:30～ 開会あいさつ
- 13:35～ 薬物依存症当事者
- 13:50～ ネット・ゲーム依存症当事者又は家族
- 14:05～ 薬物依存症者を抱える家族
- 14:20～ 「ネット・ゲーム依存とは」  
(本間史祥 子どものネットリスク教育研究会副代表)
- 14:55～ 休憩
- 15:05～ 「薬物依存症とは」  
(小林桜児 神奈川県立精神医療センター 副院長)
- 15:40～ パネルディスカッション  
(司会・近藤京子一般社団法人オンブレ・ジャパン代表理事)
- 16:35～ アンケート記入・閉会(16:40 終了予定)  
(16:40 終了後登壇者との交流時間「おかわりタイム」を17:00頃まで)



会場マップ



参加お申込みフォーム

主催  
団体名：NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会  
代表者名：理事長 横川 江美子  
所在地：東京都足立区竹ノ塚 5-18-9-207

TEL：03-5856-4824 Fax：03-5856-4827  
E-mail：yakkaren@ck9.so-net.ne.jp  
WEB：https://www.yakkaren.com/

共催：奈良ダルク・木津川ダルク  
後援団体：  
奈良県、奈良県教育委員会  
奈良市、奈良市教育委員会

# プロフィール

奈良・木津川ダルク

私たちは自分自身の問題と向き合いながら、もう一人の薬物依存者の手助けをしています。それは、社会において回復した薬物依存者として英雄になるのではなく、苦しんでいるアディクトの希望でありたいものです。その最たる仲間が故近藤恒夫ではないでしょうか。使う事をやめたいと願い、薬物を必要としない生き方を仲間と一緒にダルクで身につけてほしい。そして巣立ち、社会の大空を自由に優雅に舞ってほしい。苦しんでいるアディクトを見つけるために...。それがアディクトの回復という生き方ではないでしょうか。精神科病院や刑務所に長期間閉じ込め断薬が出来たとしても、問題の半分も解決しないでしょう。薬物を使わずに生きる—スピリチュアルな健康を取り戻す。その方法を伝えて自立していくことが私たちの目的であり、ダルクの役割だと考えております。私たちは、この身体的、精神的、社会的、霊的（スピリチュアリティ）な回復と健康を取り戻すことに「今日一日」、ベストを尽くしております。

## アバリ・ウエスト家族教室

アバリウエストでは、薬物の問題で困っている家族を対象とした家族教室を開催しています。毎月第3火曜日 13:00～16:00、会場は『おおさかドーンセンター 4階中会議室 2号室』お問い合わせは、木津川ダルクへ

## 三重家族会

三重家族会は、薬物依存症に苦しむ家族のためのグループです。私たちは経験を共有し、総合支援を通じて希望と情報を提供し、参加者同士の話し合いを行っています。薬物依存症で悩むご家族の皆様、支援や情報を求める方々の参加をお待ちしております。当会は安心できる雰囲気でお互いを理解し、支え合える場所を提供しています。

【開催日時】毎月第2土曜日 10時～12時

【開催場所】津 アスト3階ミーティングルーム B

【連絡先】参加に関するご質問やお問い合わせは、以下のご連絡先までご連絡下さい

電話番号：090-8737-6223

メールアドレス：hana19401517@gmail.com

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 小林 桜児 氏

神奈川県 立精神医療センター

副院長

横浜市大附属病院で研修後、NTT 東日

本伊豆病院、神奈川県立精神医療セン

ター、国立精神・神経医療研究センター病院を経

て、2013年～神奈川県立精神医療センターに戻り、

2021年4月～副院長。専門はアルコール・薬物依存

症の臨床。

## 本間 史祥 氏

子どものネットリスク教育研究会筆頭副代表

公立中学校教諭として勤務しながら、子どもたちのインターネット利用のリスク、

最近では長時間利用による健康被害問題を中心に講演・啓発活動を行う。編著：

スマホ・ネットの長時間接触による健康被害の実際と対策～ネットリスク啓発者と保護

者のテキスト～（2019）

## 近藤 京子 氏

一般社団法人オンブレ・ジャパン代表理事、やっかれん・プログラム・コーディネーター、ASK 依存

症予防教育アドバイザー

1999年よりASK（アルコール薬物問題全国市民協会）発行・季刊 Be! の編集に携わる。2009年、ス

페인で年間1万8000人のアディクション問題を持つ人とその家族に対応する非営利組織「プロジェクト・オンブ

レ」で特別研修を受ける。帰国後は、各地の依存症関連施設や家族会などでグループを担当する。ほか、当事者、

家族プログラムを開発。2019年、一般社団法人オンブレ・ジャパンを設立。東京都でアルコール、薬物、ギャンブル

など依存問題を持つ人の支援を行なっている。

## 一般社団法人グレイス・ロード

2015年2月に開設したギャンブル依存症回復施設グレイス・

ロード。当初はわずか10名前後の利用者でスタート。2019

年には60名を超える規模に。2020年7月にはネット・

ゲーム依存症の相談窓口を開設。活動9年目となり、

ギャンブル依存症問題に苦しむ多くの方々に支

援できる体制を作ってきた。引き続きギャンブル

依存症回復支援のノウハウを活かした支援

体制を整えていく。



## NPO 法人全国薬物依存症者家族会連合会（やっかれん）

覚せい剤やシンナーの依存など、身内に薬物の問題を抱えた家族らが立ち上げた自助グループとしての家族会の全国組織です。家族会

がネットワークを形成することで社会的な発言力を持ち、150～200万人とされる薬物乱用者の家族のケアを目指すと2004年に設立。

全国の家族会の連合体として薬物依存症者や家族の回復や社会復帰施設を支援し、行政に薬物問題の対策を求めて活動しています。

## 参加について

ご協力よろしくお願ひいたします！

☆当日はマスク着用や消毒、検温等ご協力いただくとともに37.5度以上の方は同伴者と共に入場を控えていただきます。

☆緊急の事態が発生した場合は中止等判断しますので、<https://isonyobou.jimdofree.com/>にてご確認ください。

☆開催日以前2週間以内に発熱、咳くしゃみ等具合の悪かった方、また感染拡大地域や国への訪問歴が14日以内にある方は参加をご遠慮ください。

お名前	メールアドレス	
住所	〒 -	
所属	<input type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 当事者 <input type="checkbox"/> 家族 <input type="checkbox"/> アディクション関係団体 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 報道 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> その他	
お知りになった経緯	<input type="checkbox"/> ウェブサイト <input type="checkbox"/> 友人 <input type="checkbox"/> ニュースレター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 薬家連 <input type="checkbox"/> その他広告	

参加申し込み FAX 用 FAX 番号 03-5856-4827（やっかれん）